健康福祉都市

総合福祉会館が着工

24時間ヘルパー派遣を充実

社会福祉の関係では、高齢者や障害者の利用はもちろん、市民のボランティア活動の拠点となる総合福祉会館（仮称）の建設に着手します。同館には、車いすに乗ったまま入れるプール、障害者用デイサービスセンター、高齢者用の機能訓練室などを備え、十年度の完成を目指します。

また地域における保健・福祉・医療の連携の拠点となる地域保健福祉センター整備では、現在建設を進めている坂井輪地域保健福祉センターが十二月に完成予定。南地域保健福祉センターは四月にオープンします。

全身性障害者に ヘルパーを派遣

ホームヘルパーでは、利用者の増加に対応し、三百六十五日の派遣を確保するため、さらに増員します。現在モデル事業として実施している夜間巡回型ホームヘルパー派遣は対象者を拡大し本格実施するとともに、新たにモデル事業として二十四時間介護が必要な全身性障害者に夜間二時間を限度に派遣を行います。

二十四時間体制で独り暮らしの高齢者や重度身体障害者の緊急時にホームヘルパーなどを派遣するあんしん連絡システムの対象者を新たに二百人増やすとともに、巡回入浴車の派遣回数も増やします。

また新たに常時看護を必要とする難病患者の在宅療養生活を支援しようと夜間看護サービスを実施します。

在宅福祉を支援 デイサービスを増設

高齢者福祉施設の整備では、特別養護老人ホームの「にいがた新生園」、「桃山園」などの建設費を助成します。「にいがた新生園」は六月に完成予定、「桃山園」は九年度から二カ年で建設され、それぞれに短期入所、デイサービスセンターなどを備えた施設となります。

またデイサービスセンターの整備では、保育園に併設する「岡山」と、「新潟東」の建設費を助成します。

入舟地区に 福祉センター建設

旧北部グラウンドの一画に新設される入舟地区いきいき福祉センター（仮称）には、老人憩いの家・ひばり荘とデイサービスセンターが併設され、十年度の完成を目指します。

また鏡淵小学校グラウンドわきに建設を進めている白新地区ふれあい福祉センター（仮称）は、デイサービスセンター、ひまわりクラブ、コミュニティハウスを備える複合施設で、八月に完成する予定です。

重症心身障害者に 通園の場を提供

障害福祉の関係では、障害者や高齢者にやさしいまちづくり推進事業として引き続き市庁舎や公共施設の改善に努め、市庁舎に音声誘導装置や階段警告ブロックを設置するほか、歩道の段差切り下げなどの整備を行います。

また新たに重症心身障害児（者）に通園の場を提供し機能訓練や家族の療育相談などを実施するとともに、障害者の社会参加を促進しようと、福祉タクシー利用料金や自動車燃料費・改造費などの助成とともに、新たに自動車運転免許取得費を助成します。

心身障害者小規模施設への支援では、運営費の補助をはじめ、法人化の促進を図ろうと、大山台福祉作業所の施設整備費への助成を行います。

市民病院で MRIを入れ替え

保健・医療関係については、市民病院の医療体制の充実を図ろうと待機者の多いMRI（磁気共鳴断層撮影装置）を入れ替えます。

また新たに療養型病床群に転換する済生会新潟病院への助成を行うとともに、引き続き老人保健施設整備費を助成します。

基本健康診査に ヘモグロビン検査追加

基本健康診査は、対象を四十歳以上とし、六十歳以上は無料。新たに検査項目にヘモグロビン検査（糖尿病検査）を加えます。

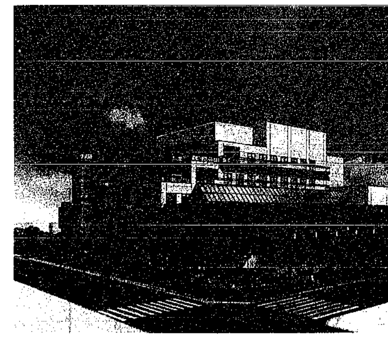
また女性の健康づくりをさらに推進しようと、骨粗しょう症健康診査の対象年齢の上限をなくし、十八歳以上のすべての女性が受けられるようになります。

鳥屋野小学校区に ひまわりクラブ新設

児童福祉関係では、延長保育などの充実を図るほか、保育園の建設費を助成。

また鳥屋野小学校区にひまわりクラブを新設するほか、有明児童センターの改修費を助成します。

このほか旧食肉センター跡地に移転新築する衛生試験所の設計に着手します。


平成10年度完成予定の総合福祉会館

快適生活都市

ごみ6分別全市で実施

資源回収奨励金 5円/キロへ

四月から東新潟地区を含め、ごみの六分別収集を全市一斉で実施します。資源再生センターでは、集められたびん・缶を再資源化し、売却益を資源回収奨励金や環境教育副読本の財源に還元します。また、廃プラスチックの油化にも引き続き取り組みます。

市民リサイクル運動の推進に、資源回収奨励金を一キロ四円から五円に引き上げます。

さらにごみ減容のため、「燃えないごみ」を大幅に減らす不燃物破砕選別処理施設の整備を新田清掃センターに開始します。また、同清掃センターのろ過式集じん器を設置するなど基幹的施設の改良を行います。

新たに、東新潟埋め立て処分地の整備のため、環境影響評価および設計を行います。

自然環境保全計画策定へ 佐潟周辺の自然調査

昨年ラムサール条約登録湿地に指定された佐潟周辺では、自然環境保全計画の策定に向け、水質調査や植生モニタリング調査を実施します。

また、佐潟を紹介するビデオや、十年度に開館が予定されている水鳥湿地センターなどを紹介するパンフレットの作成を行います。

国際的な環境協力の面では、ハルピン市に環境保護技術交流団を派遣。環境庁・県と共催で第六回環日本海環境協力会議を開催します。

「燕喜館」（旧斎藤邸） 白山公園内にオープン

公園では「海辺の森」を鳥見町・太夫浜地区に整備します。建設が継続されている濁川公園では四月から分区園の供用を開始し、山の下海浜公園では今年夏から遊泳プールの利用を始めます。

九年度で整備が完了する的場史跡公園では、建物の復元などが行われます。白山公園内に、再建築が進められている旧斎藤邸は、「燕喜館」の名称で、十月に利用を開始する予定です。

都市緑化フェア準備

さらに、平成十年に鳥屋野潟南部で開催される都市緑化フェアの準備を、県と連携を取り、進めます。

公共下水道処理区域に 新たに226㌶

公共下水道の第八次五カ年計画の二年目に当たる九年度末には、新たに坂井輪・鳥屋野地区など二百二十六㌶が処理区域に入ります。下水道普及率は農業集落排水と合わせ、五七・二％に達する見込みです。

雨水対策では、引き続き新潟島地区の改善に、東堀雨水幹線、白山公園ポンプ場の整備を進めます。また、九年度新たに雨水の浸透や資源化の可能性を探る雨水排水抑制計画調査を行います。

さらに、水洗化改造工事に対する資金の貸し付け限度額を六十万円から百万円に引き上げます。

新浄水場を整備へ

祖父興野に新浄水場を建設するため設計に取り掛かります。市営住宅では、曽野木団地A号棟、寺尾第三団地B号棟の建て替えを継続するとともに、西湊町通一ノ町団地の建設に着手します。

違法駐車対策では、古町周辺を重点地区に指定し、違法駐車防止を図ります。

新地域防災計画を策定

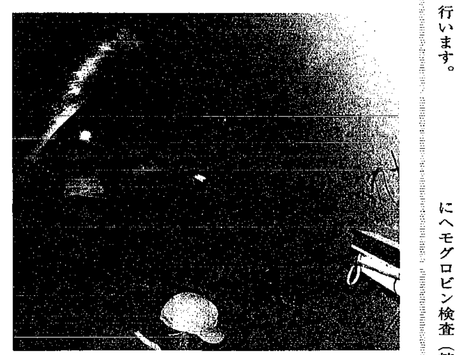
見直しを行っていた地域防災計画は、九年度新しい計画を策定します。併せて、地区別防災カルテの作成や社会機能に与える影響予測調査を実施します。

消防局に災害対応型の車両として、長時間にわたる救援活動などに威力を発揮する特殊指揮隊車を新たに配備します。

耐震補強工事を実施

昭和五十六年五月以前の木造住宅の耐震診断の、経費の二分の一について助成を続けます。

このほか、市体育館や橋りょうなどの耐震補強工事を実施します。


内径2.4mの雨水幹線＝昨年3月の下水道探検

〈健康福祉都市〉に向けた主な事業と予算額　（単位千円）

事業	予算額	事業	予算額
総合福祉会館の建設	1,790,000	（仮称）白新地区ふれあい福祉センターの整備	267,000
地域保健福祉センターの整備	619,000	障害・高齢者にやさしいまちづくり推進	570,000
ホームヘルパーの派遣	727,006	重症心身障害児（者）通園事業	11,674
夜間巡回型ヘルパーの派遣	35,699	障害者の社会参加の促進	131,469
全身性障害者ヘルパー派遣モデル事業	8,429	市民病院の診療体制の充実	1,601,092
あんしん連絡システム事業	46,233	療養型病床群整備への助成	60,000
特別養護老人ホームなどへの助成	1,432,986	保育園建設への助成	166,012
難病患者夜間看護サービスの実施	2,178	ひまわりクラブの整備	28,000
（仮称）入舟地区いきいき福祉センターの建設	267,000	衛生試験所の移転新築	61,000

〈快適生活都市〉に向けた主な事業と予算額　（単位千円）

事業	予算額	事業	予算額
ごみ6分別収集の実施	147,582	「海辺の森」の整備	947,836
資源再生センターの運営	245,477	都市緑化フェアの開催準備	345,076
プラスチック資源化の推進	560,000	燕喜館（旧斎藤邸）の整備	167,000
ごみ減量化・リサイクル作戦の推進	90,444	公共下水道の整備	24,749,000
不燃物破砕選別処理施設の整備	964,500	新浄水場の建設	73,013
新田ごみ焼却施設の改良工事	1,163,000	公営住宅の建設	1,779,000
東新潟埋立処分地の整備	68,000	違法駐車防止対策事業	7,600
佐潟周辺の自然環境保全	41,725	地域防災計画の見直し	39,433
国際環境協力の推進	3,511	特殊指揮隊車の購入	55,000
天然ガス自動車の購入	5,300	耐震補強工事の実施	425,000

文化創造都市

市民文化会館の建設進む

「こどもの創作館」整備へ

十年度開館予定の市民文化開館の建設が、最盛期を迎えます ソフト面では、舞台芸術の企画運営を技術的、具体的な側面から学び、実際の公演を立ち上げられる人材を育成します。

また、市民参加による演劇のワークショップの開講、演劇公演などのプレイベント開催します。

海辺の森キャンプ場の建設

青少年の交流と自然体験の場として「海辺の森キャンプ場」を島見浜に建設します。

子どもたちの豊かな創造性を生かす多彩な文化活動施設（仮称）「こどもの創作館」（旧豊田城幼稚園）を平成十年開館に向けて整備します。

音楽文化会館が20周年

音楽文化会館の二十周年を記念し地元出身の若手音楽家によるジョイントコンサートや、市民にホールを開放してのリレーコンサート、楽器一日体験教室などを開催します。

10月に全国生涯学習フェス

十月に、本市を含め県内四カ所で全国生涯学習フェスティバル「まなびピアにいがた'97」が開催されます。市出身の漫画家を招いたマンガサミットや「にいがたの歴史と現在」と題して、初代新潟奉行・川村修就の没後百二十年記念特別展や郷土資料館収蔵書跡絵画展などを開催します。

生涯学習センター建設のために、その機能や役割について調査検討を行います。

郷土歴史博物館の設計着手

新郷土資料館は「（仮称）郷土歴史博物館」と名称を替え、基本設計に着手します。同館を中心とする周辺地区を、信濃川と調和のとれた情緒豊かな古くからの港町を表現する歴史・文化ゾーンとして整備します。

新潟歴史双書を刊行

新潟の歴史に関心と理解を深めてもらうと「新潟歴史双書」を刊行します。来年度のテーマは〝新潟湊の繁栄〟を予定しています。

中央図書館 基本構想策定へ

これまで検討してきた中央図書館の構想について、広く一般市民に意見を求めるため、市民が参加する検討会議やアンケート調査、シンポジウムを行います。

市内にある八つの図書館をオンラインで結び、利用者が図書館の蔵書を検索できるシステムを構築します。

また、各家庭からインターネットを通じて市の図書館はもとより、県立図書館の一部についても蔵書を検索できるようになります。

関屋にコミュニティハウス

関屋地区事務所を建て替え行政サービス事務室、老人憩いのフロアー、多目的ホールなどを備えた関屋地区コミュニティハウスが十二月に開館する予定です。

登校拒否の生徒を対象に 夜間に学習指導など行う

学力不振など学習面で不適応を起こしている登校拒否生徒に対して、夜間に学習指導・進路指導、カウンセリングを行い学校生活への復帰を目指します。

いじめの発生防止と根絶に向けて、カウンセラーの派遣と生徒指導担当者の研修を引き続き行います。

地域の子育て相談者を育成

家庭教育の充実を図るため、地域における家庭教育学習を支援し、身近な子育て相談者として活動を行う人材を養成します。

コンピューター教育の推進

九年度中にコンピューターを小学生二人に一台の割合で完全配備します。中学校では、コンピューター室の冷暖房化を九校から十八校に増やします。また、インターネット活用研究校として四校を指定します。

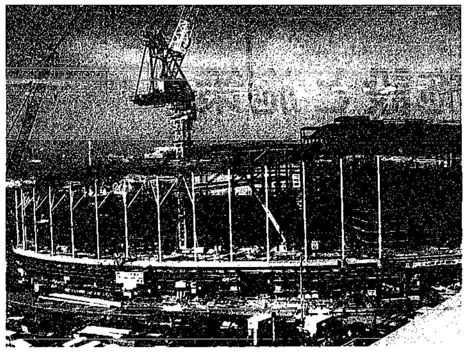
宮浦中の全面改築

屋内クラブハウスが備わる宮浦中学校の全面改築が来年度末に終了します。津波対策として高床式で整備します。また、南浜小学校屋内体育館を改築します。

ごみ焼却余熱を利用 アクアパーク建設

新田焼却場のごみ焼却余熱を利用して、子どもからお年寄りまで利用できる温泉施設「アクアパーク」（仮称）を建設します。

十年度開館に向けて、東総合スポーツセンターの建設を行います。老朽化している西海岸公園屋内プールの建て替えと水球や飛び込み用の多目的プール、また、西総合スポーツセンターのプール棟の基本設計にも着手します。


着々と建設が進む市民文化会館

中枢拠点都市

W杯サッカーに向けて発進

空港へのアクセス道路を整備

新潟での開催が決定した二〇〇二年ワールドカップサッカーに備え、全庁的な推進組織を結成します。十カ国語の語学ボランティア養成講座を開きます。また、まちづくりや開催イベントに関して、市民の皆さんから意見や要望を聴く場を設けるなど、市民ぐるみの取り組みを展開します。

鳥屋潟南部開発の推進

ワールドカップサッカー、都市緑化フェアの会場となる総合スポーツゾーンの整備を、県とともに推進していきます。また、弁天線の整備を進め、弁天橋は緑化フェア開催までに片側二車線の四車線化を目指します。

将来に向け 道路網を整備

新潟駅周辺では、在来線の高架化を生かした魅力あるまちづくりを、引き続き県・JRとともに検討します。

西港周辺地域では、住民主体のまちづくりを目指し、地域住民によるまちづくりのための組織づくりや、勉強会を今後も継続します。また、水戸教公園や自転車道を整備します。

幹線道路では、引き続き万代橋下流連絡路関連道路の整備を行います。また、市民病院周辺の交通混雑の緩和を図るために、新たに明石紫竹山線の整備に着手します。

歩く楽しさが感じられる道路として整備を進めている「ふれあい散策ロード」は、松崎線、本馬越線で新たに工事に取り掛かります。

空港・港湾の活性化

新潟空港の整備と機能強化を一層進めていくために、空港へのアクセス道路網の整備を行います。北陸自動車道や新新バイパスと空港を結ぶ下山江門線などの整備のほか、新たに山の下海浜公園前の河渡飛行場線に着手します。

新潟港の利用促進と活性化を図るために、新潟港利用促進協議会へ事業参加し、ポートセールスを国内外において展開するとともに、新規航路の誘致活動を行います。

産業界に刺激を

ニュービジネスを本市に呼び込み、新潟の産業界を刺激するため、参加企業を全国的に募集する「新潟地域ニュービジネスメッセ」を開催します。

商店街の活性化を目指し、アーケード・街路灯の設置など、商店街の環境整備への助成を拡充します。

街のにぎわいの阻害要因となっている空き店舗を、商店街がコミュニティ施設などとして活用する場合の改装工事費などを助成。また、単なる買い物の場であった商店街を、暮らしの広場として活性化していくためのイベント活動への助成を引き続き行います。

総合卸売センターの ソフト面を整備

青果、水産、花きの卸売市場を統合する総合卸売センターの整備に向けて、自動荷さばきや搬送など場内の物流に関する機能運営システムの検討を行っていきます。

観光客を誘致

長野冬期五輪や磐越自動車道全線開通を好機に、広域観光の推進を図ります。

国際経済交流と貿易振興のため、引き続き韓国の県産業貿易振興協会ソウル事務所に職員を派遣します。同協会大連経済事務所へも事業参加を行います。

情報化の推進

効率的な行政運営の実現を図るために、パソコンの増設を行い、庁内ネットワークを活用した行政情報化を推進していきます。また、インターネットによる情報の発進の充実を図ります。

市民サービスの向上と事務の合理化を目指し、戸籍事務のコンピューター化に向け開発調査を開始します。

黒埼町との合併問題 引き続き協議

黒埼町との合併に向け、引き続き任意協議会を開催し、まちづくりや行政サービスについて話し合います。

産業界活性化に向けてリニューアルする新潟メッセ
（写真は昨年の様子）

〈文化創造都市〉に向けた主な事業と予算額　（単位千円）

事業	予算額	事業	予算額
市民文化会館の建設	11,470,000	いじめ問題対策の推進	1,852
音楽文化会館開館20周年記念事業	1,782	教育相談訪問指導の充実	14,685
全国生涯学習フェスティバルの実施	135,337	登校拒否生徒の夜間自主学習の支援	8,349
（仮称）郷土歴史博物館の建設	168,000	コンピューター教育の推進	443,989
新潟歴史双書の刊行	2,600	東総合スポーツセンターの建設	1,750,000
（仮称）こどもの創作館の整備	320,000	西海岸公園・屋内プール建て替えと多目的プールの建設	29,000
（仮称）海辺の森キャンプ場の建設	450,000	西総合スポーツセンタープール棟建設	30,000
中央図書館建設調査費	3,000	焼却余熱利用施設「アクアパーク」（仮称）の建設	181,000
図書検索ネットワークの整備	9,500		
関屋コミュニティハウスの建設	173,000		

〈中枢拠点都市〉に向けた主な事業と予算額　（単位千円）

事業	予算額	事業	予算額
2002年W杯サッカー開催の準備	16,600	ふれあい散策ロードなどの整備	290,000
新潟空港の整備と機能強化の推進	396,931	新潟地域ニュービジネスメッセの開催	13,500
空港アクセス道路網の整備	1,852,081	商店街環境整備への補助	199,824
新潟港の整備と利用活性化	144,874	商店街空き店舗対策への支援	34,520
新潟駅周辺整備および連続立体交差の推進	43,000	国際経済交流と貿易の振興	57,282
西港周辺地域のまちづくりの推進	70,500	広域観光の推進	14,300
鳥屋野潟総合運動公園の整備	2,561,646	高度稲作経営体の育成	55,329
弁天線の整備	2,797,000	総合卸売センターの整備推進	24,000
万代橋下流連絡路関連道路の整備	828,000	黒埼町との合併の推進	13,514
その他の幹線道路の整備	1,401,000	情報化の推進	94,892